記者発表資料

八戸市　三戸町　五戸町　田子町　南部町　新郷村　二戸市　八幡平市　葛巻町　軽米町　一戸町

MAFF 農林水産省　林野庁　森林整備センター　気象庁　青森県　岩手県　国土交通省

令和　４年　３月３１日
馬淵川流域治水協議会

あらゆる関係者による流域治水の更なる推進・実践のため、馬淵川水系において「流域治水プロジェクト」を更新しました。

～豊かな自然を抱えるふるさとを水害から守る青森と岩手が一体となった治水対策の推進～

○令和元年東日本台風での阿武隈川（福島県）・吉田川（宮城県）、令和２年７月豪雨での最上川（山形県）での災害をはじめ、昨今の豪雨災害の激甚化・頻発化を受け、流域を俯瞰し、あらゆる関係者（国・都道府県・市町村等）が協働して取り組む治水対策「流域治水」への転換が重要であるとの認識に基づき、馬淵川流域治水協議会での議論を通じて、流域全体で実施すべき対策の全体像を「馬淵川水系流域治水プロジェクト」としてとりまとめ、令和３年３月に公表いたしました。

○今回、グリーンインフラの取り組みや水災害リスク情報、指標を用いた取り組み状況を加えるなどプロジェクトの更なる充実を図りましたので、プロジェクトを更新・公表いたします。

○「馬淵川水系流域治水プロジェクト」では、馬淵川流域に位置する青森と岩手両県の国、県、市町村等が連携し、河道掘削、堤防整備等を着実に実施していく他、安全・安心なまちづくりや内水被害軽減などの対策を組み合わせた流域治水を引き続き、進めて参ります。

※詳細については、別紙１（馬淵川水系流域治水プロジェクト）
又は以下URLよりをご覧下さい。
http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/river/disasteprevention/ryuikichisui.html

＜発表記者会＞：　青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社、岩手県政記者クラブ

問 合 せ 先

【事　務　局】
東北地方整備局　青森河川国道事務所
青森市中央三丁目２０番３８号　　電話０１７－７３４－４５２１（代表）
副所長（河川）　金（こん）　真一郎（しんいちろう）　（内線２０４）
調査第一課長　花田（はなだ）　一二（かつじ）　（内線３５１）
青森県　県土整備部　河川砂防課
青森市長島一丁目１番１号　　電話０１７－７３４－９６６２
企画・防災グループ総括主幹　本間（ほんま）　康弘（やすひろ）　（内線６７３０）
岩手県　県土整備部　河川課
盛岡市内丸１０番１号　　電話０１９－６２９－５９０５
流域治水課長　菊地（きくち）　健司（けんじ）　（内線５９０５）

馬淵川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～豊かな自然を抱えるふるさとを水害から守る青森と岩手が一体となった治水対策の推進～

別紙1

〇令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、馬淵川水系においては、上流部が山間地である地形特性を考慮した河川整備に併せて、観光資源や地域産業（農林業等）を支える安全・安心なまちづくりや内水被害軽減対策を組み合わせた流域治水の取り組みを実施することにより、国管理区間においては、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和22年8月洪水（前線及び低気圧）と同規模の洪水を安全に流下させ、気候変動も踏まえて流域における浸水被害の軽減を図る。



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

〇河川区域での対策
- 河道掘削、堤防整備　等
- 既存ダムにおける事前放流等の実施、体制構築

〇集水域での対策
- 雨水排水網の整備
- 砂防堰堤、急傾斜地崩壊防止施設の整備
- 水田貯留
- 森林整備・治山対策　等





■被害対象を減少させるための対策

〇氾濫域での対策
- 災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成
- 道路高台等への避難場所の整備・確保
- 町道の嵩上げ整備　等



道路高架区間等緊急避難場所整備※イメージ

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

〇氾濫域での対策
- 水害リスク空白域の解消
- まるごとまちごとハザードマップ標識の設置
- ため池ハザードマップの作成及び周知
- 要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援
- 講習会等による住民の防災教育や防災知識の普及促進
- 防災行政無線の改良
- 洪水ハザードマップの作成　等



まるごとまちごとハザードマップの促進


講習会等による住民の防災教育や防災知識の普及促進（自主防災研修会）

■グリーンインフラの取り組み　詳細次ページ

※対策事業の代表箇所を旗揚げしている。

1

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

馬淵川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～豊かな自然を抱えるふるさとを水害から守る青森と岩手が一体となった治水対策の推進～

●グリーンインフラの取り組み　『 多様な動植物が生息する良好な生息環境を目指して 』

○馬淵川の河岸にはヤナギ類やオニグルミを中心とした河畔林が形成され、自然河岸にはカワセミが生息しているほか、チゴハヤブサやチョウゲンボウといったワシタカ類も飛来している。また、川と海を行き来するサケやアユ、ワカサギなどのほか、重要種に指定されるウツセミカジカやタナゴなど多様な魚類が確認されるなど優れた自然環境を有している。

○馬淵川に生息する生態系の維持・保全を図るため、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

■グリーンインフラメニュー

●自然環境の保全・復元などの自然再生
・透過型堰堤による渓流環境の保全

●生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成
・魚道整備や排水路への脱出スロープ設置による連続性の確保

●健全なる水循環系の回復
・森林整備による生物の生育環境の保全と水源涵養機能の維持

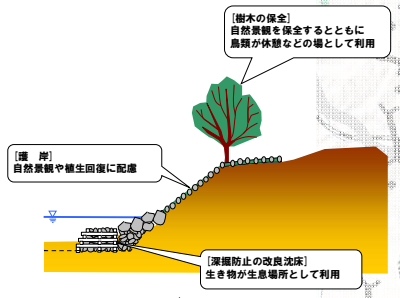
●治水対策における多自然川づくり
・生物の多様な生息環境の保全

●自然環境が有する多様な機能活用の取り組み
・小学校などにおける河川環境学習
・住民参加による河川愛護活動
・公民連携による植栽活動

●流域治水に資する水田、ため池等の保全
・生物の多様な生息環境の保全（水田貯留）

【全域に係わる取組】
・動植物の生息・生育・繁殖環境の保全
・水質の保全
・良好な景観の保全
・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援


河畔林が繁茂する良好な自然環境



【多自然川づくりのイメージ】


公民連携による植栽活動


魚道整備による連続性の確保

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

馬淵川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～豊かな自然を抱えるふるさとを水害から守る青森と岩手が一体となった治水対策の推進～

● 馬淵川では、上下流、本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進。
【短　期】 戦後最大洪水と同規模の洪水に対して家屋浸水を防止するため、水位低下を目的とした河道掘削や堤防整備を実施するとともに、住民の避難行動を促す河川情報の充実を図る。
【中期～　中長期】 馬淵川上・中流域において浸水被害を防止するための河道掘削や堤防整備を継続して実施するとともに、気候変動を踏まえた更なる対策を推進して流域全体の安全度向上を図る。また、下水道の排水施設整備による内水被害軽減、土砂災害を未然に防止する砂防堰堤等の整備や安全なまちづくりのための土地利用規制・誘導の推進を図るとともに、講習会等によるマイ・タイムラインの普及促進、要配慮者利用施設の避難確保計画作成等により、改めて地域住民の防災意識の啓発を図るとともに、より確実な避難体制の構築を図る。

【ロードマップ】

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。　※ ■■■■■ :対策実施に向けた調整・検討期間を示す。

区分	対策内容	実施主体	工程 短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削・堤防整備等（八戸市街地の家屋浸水を防止）	青森河川国道事務所	国管理区間	現行河川整備計画事業完了（青森河川国道事務所）	
	気候変動を踏まえた更なる対策を推進	青森河川国道事務所		気候変動を踏まえた更なる対策を推進	国管理区間
	河道掘削・堤防整備等（馬淵川中・上流域の家屋浸水を防止）	青森県・岩手県	馬淵川中流・熊原川・浅水川、馬淵川上流・安比川		
	河道掘削・堤防整備等（沿川の家屋浸水を防止）	八戸市・二戸市・八幡平市	準用河川		
	雨水排水路の整備、施設の耐水化	八戸市・二戸市　等	雨水排水路の整備（二戸市）	下水道施設の耐水化（八戸市）	
	砂防堰堤、急傾斜地崩壊防止施設の整備	青森県・岩手県		砂防堰堤等の整備（青森県、岩手県）	
	既存ダムにおける事前放流等の実施・体制構築	国・県			
	水田貯留（支援含む）	東北農政局・県・流域市町村	※実施に向けて検討する取組		
	森林整備・治山対策	東北森林管理局・青森県 岩手県・森林整備センター			
被害対象を減少させるための対策	災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成	八戸市・二戸市	立地適正化計画の策定（二戸市）	立地適正化計画の見直し（八戸市）	住居や公共公益施設の移転誘導（二戸市）
	道路高台等への避難場所の整備・確保	青森河川国道事務所・南部町		緊急避難路等の整備（青森河川国道事務所、南部町）	
	排水ポンプ車による内水排除作業の実施	八戸市	排水ポンプ車配備（八戸市）		
	町道の嵩上げ整備	南部町	道路被害の防止と輸送道路の確保（南部町）		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	メディア連携による防災情報の提供	二戸市	防災ラジオやスマホ（ＳＮＳ）を活用した防災情報の提供（二戸市）		
	避難場所や経路に関する情報の周知	青森県・岩手県 流域市町村	ため池ハザードマップの作成・周知（八戸市）		要配慮者利用施設の避難確保計画作成
	住民の防災意識向上のための取り組み	青森県・岩手県 青森地方気象台・流域市町村		マイタイムラインの普及促進	
	効率的な水防活動の実施及び水防体制の強化	青森県・岩手県 流域市町村	役場庁舎の高台移転（南部町）		
	防災行政無線の改良	流域市町村			防災行政無線のデジタル化更新
グリーンインフラの取組	透過型堰堤による渓流環境の保全	岩手県	透過型砂防堰堤の整備（岩手県）		
	魚道整備や排水路への脱出スロープ設置による連続性の確保	青森県	魚道整備・排水路への脱出スロープ設置（青森県）		
	森林整備による生物の生育環境の保全と水源涵養機能の維持	東北森林管理局・青森県 岩手県・森林整備センター	持続的な森林の保全維持を目的とした植樹活動（青森県）	森林整備事業・治山事業	
	生物の多様な生息環境の保全	青森河川国道事務所・青森県 岩手県・八戸市	多自然川づくり		
	小学校などにおける河川環境学習	青森河川国道事務所・二戸市 八幡平市			
	住民参加による河川愛護活動	三戸町・二戸市	川まつり事業（三戸町）、景勝地〔馬仙峡〕等の景観の保全（二戸市）		
	公民連携による植栽活動	二戸市	漆林の整備・管理・保全（二戸市）		
	生物の多様な生息環境の保全（水田貯留）	東北農政局・県・流域市町村	※実施に向けて検討する取組		

【事業費（R2年度以降の残事業費）】

■河川対策
全体事業費　約１１０億円　※1
対策内容　河道掘削、堤防整備　等

■下水道対策
全体事業費　約１０億円　※2
対策内容　雨水排水網の整備　等

※1：直轄及び各圏域の河川整備計画の残事業費を記載
※2：各市町における下水道事業計画の残事業費を記載

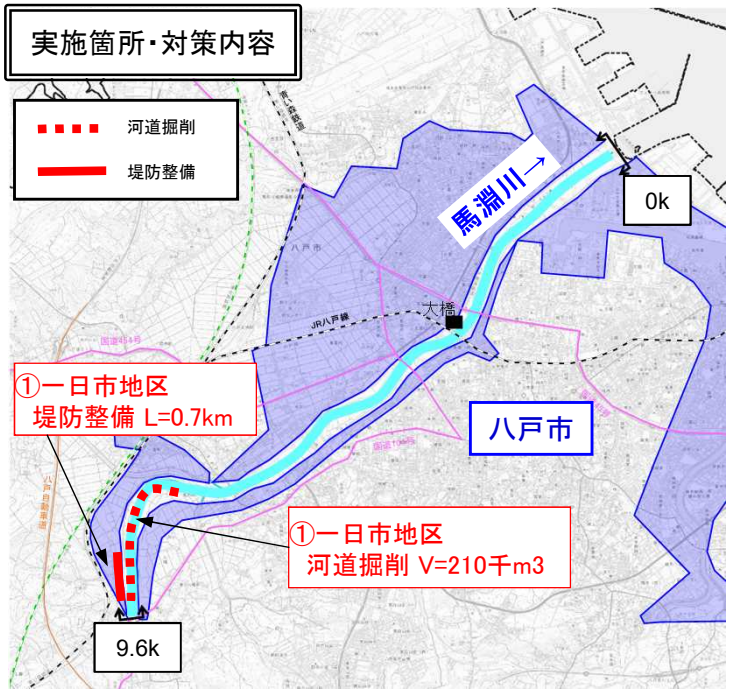
馬淵川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～豊かな自然を抱えるふるさとを水害から守る青森と岩手が一体となった治水対策の推進～

進捗と効果
（R4.3版）

○一日市地区の河道掘削及び堤防整備事業がR7に完了することで、戦後最大洪水である昭和22年8月洪水と同規模の洪水に対して家屋の浸水被害を防止することが可能となる。

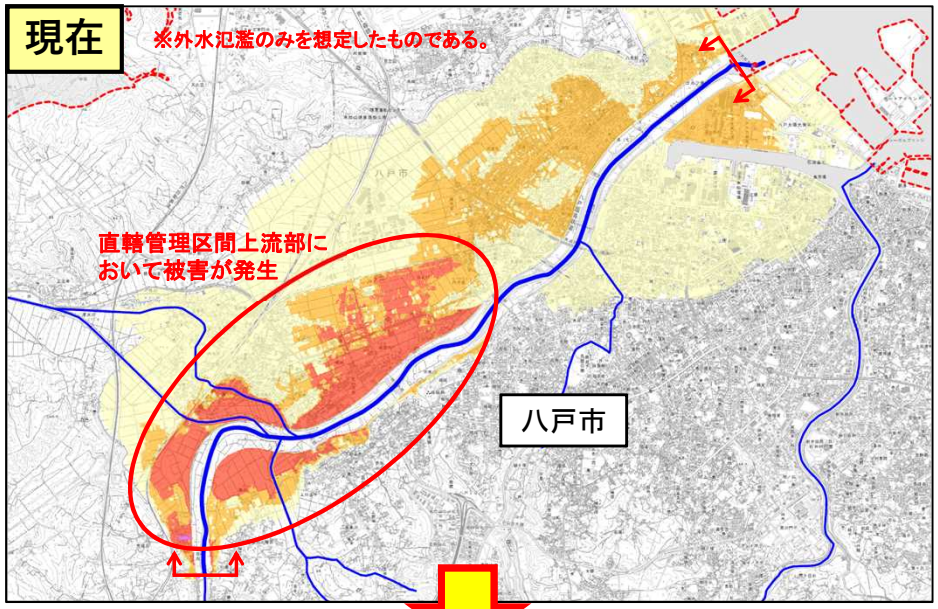
短期整備（5か年加速化対策）効果 ： 河川整備率 約93%→100%

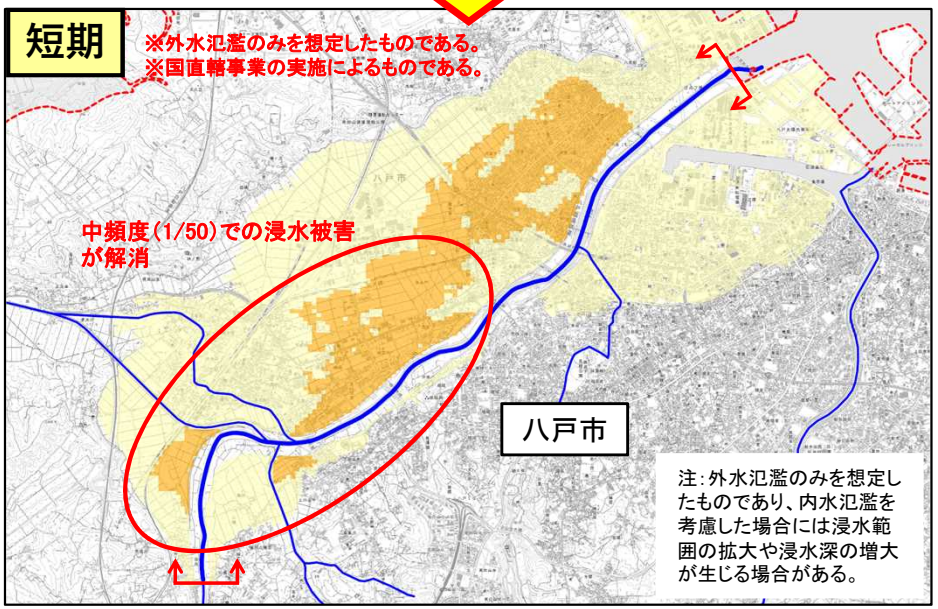


凡例
5か年加速化メニュー：赤字

区分	対策内容	区間	工程 短期（R2～R7年）
関連事業			R3
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削 82%→ 100%	①一日市地区	100%
	堤防整備 91%→100%	①一日市地区	91% → 100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。





【短期整備完了時の進捗】
① 一日市地区 河道掘削
82%→100%
①一日市地区 堤防整備
91%→100%

凡 例
- 高頻度（1/10）
- 中高頻度（1/30）
- 中頻度（1/50）
- 低頻度（1/100）
- 想定最大規模

※浸水範囲は、今後の調査・検討や対策内容等により変更となる場合がある。

馬淵川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～豊かな自然を抱えるふるさとを水害から守る青森と岩手が一体となった治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）

整備率：１００％

（概ね５か年後）

農地・農業用施設の活用

４市町村

（令和３年度末時点）

流出抑制対策の実施

０施設

（令和２年度実施分）

山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策

治山対策等の実施箇所　１２箇所

（令和３年度実施分）

砂防関係施設の整備数　０施設

（令和３年度完成分）

立地適正化計画における防災指針の作成

１市町村

（令和３年12月末時点）

避難のためのハザード情報の整備

洪水浸水想定区域　５河川

（令和３年12月末時点）

内水浸水想定区域　０団体

（令和３年11月末時点）

高齢者等避難の実効性の確保

避難確保計画　洪水　247施設

土砂　41施設

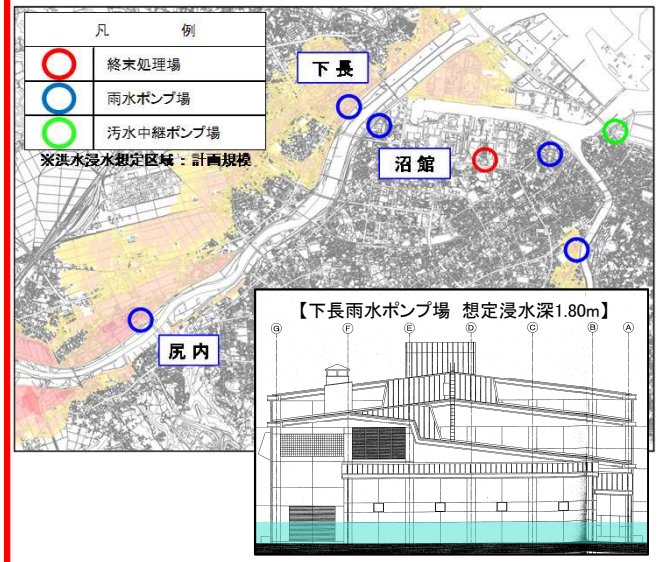
（令和３年９月末時点）

個別避難計画　集計中

（令和４年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

下水道施設の耐水化

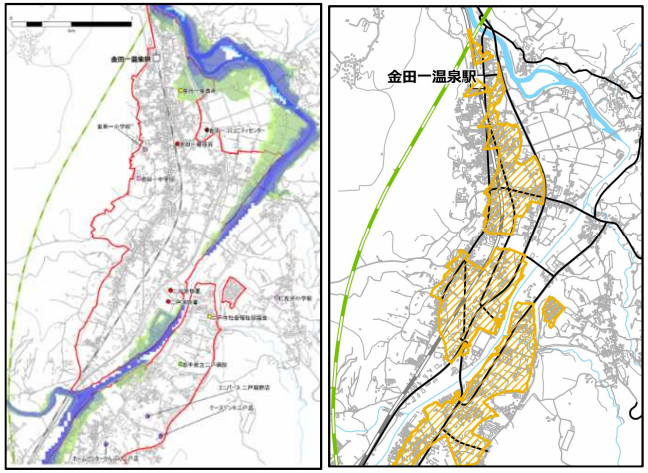


・下水道施設の浸水による機能停止を防ぐため、1/100計画規模の洪水に対応した耐水化計画を策定して、受変電設備やポンプ設備の耐水化を図る。
集中豪雨時においても施設の揚水機能を維持し、内水氾濫を防ぐ。

（青森県八戸市）

被害対象を減少させるための対策

災害リスクを考慮した住居等の移転誘導



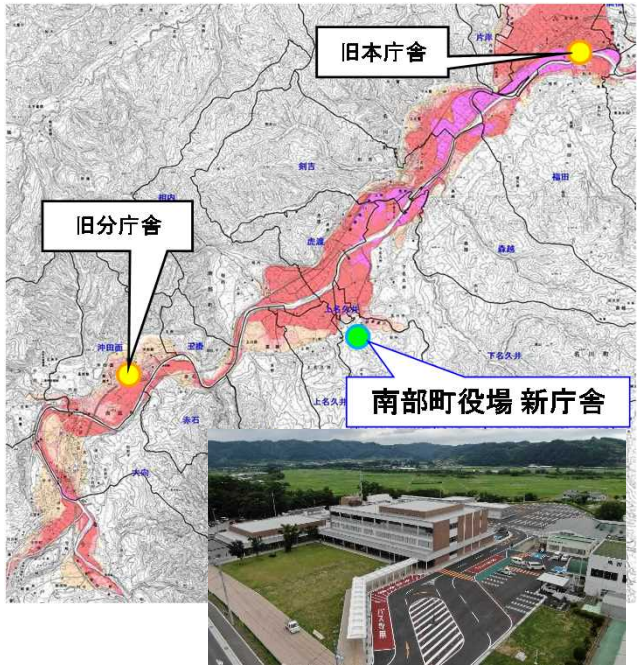
浸水想定区域（L2）の範囲　　居住誘導区域

・災害リスクの抽出・分析を行い、想定最大規模の浸水想定区域や土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域を除外した居住誘導区域・都市機能誘導区域を設定して、令和3年3月に立地適正化計画を策定・公表。
今後は、災害リスクの高い区域にある住居や公共公益施設等の移転誘導を進める。

（岩手県二戸市）

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

役場庁舎の高台移転



・馬淵川の洪水浸水想定区域内に立地していた旧本庁舎及び旧分庁舎を高台へ統合移転し、防災機能強化を図った。

（青森県南部町）